

他都市事例における主要な導入機能の整理

方向性	機能	導入施設	他都市事例における具体的な施設名		
			公共用ヘリポート周辺施設の利用事例		ウォーターフロントにおける大規模跡地等の活用事例
			半径 500m 以内	半径 500m~1km [※] 以内 (※広島ヘリポートの制限表面 1km)	
新たな産業の場	商業・アミューズメント	観光関連施設	—	—	神戸ポートタワー、旧大阪商船、旧門司三井クラブ、門司港レトロ観光物産館、門司港レトロ展望室、唐戸市場など
		ホテル・レストラン	—	神戸ポートピアホテルなど	神戸コンチェルト、煉瓦倉庫レストラン、クラウンパレス神戸、門司港ホテルなど
		大型商業施設	—	IKEA など	フェスティバルパーク蘇我、ARIO 蘇我、HOME'S (ホームズ)、堺浜サイドステージ、プロメナ神戸、Ha・Re、モザイク、神戸情報文化ビル、海峽プラザ、カモンワークなど
		テーマパーク・遊園地	—	—	ディズニーランド、ナガシマリゾート、ハウステンボスなど
	教育・文化	博物館・水族館	—	—	神戸海洋博物館、九州鉄道記念館、関門海峡ミュージアムなど
		教育	—	幼稚園、特別支援学校、大学(神戸 ^{山手} 夙川学院大、兵庫医療大学、神戸女子大学等)など	—
		文化施設	公民館、ポートアイランドホールなど	国際会議場など	—
	業務	産業支援施設	—	—	神戸市産業振興センターなど
		研究施設	—	理化学研究所、国際医療開発センターなど	—
	物流	物流施設	木材物流施設、太平洋セメント出荷センター、アスクル大阪物流センター、ヤンマー物流センター、ニトリ関西物流センターなど	木材物流施設、食品物流施設、薬品配送センター、上組ロジスティックセンターなど	—
工場	製造・加工工場	工作機械等製作工場、鉄鋼工場など	木材加工工場、大塚食品、家具製造工場、JFE エンジニアリング、食品加工工場など	グリーンフロント堺など	
医療・福祉	医療・福祉施設	障害者支援施設など	老人ホーム、デイサービスセンター、病院など	—	
スポーツ・レクリエーションの場	スポーツ	スポーツ施設	温浴運動施設、スポーツセンターなど	ゴルフ練習場、舞洲運動広場、舞洲アリーナ、舞洲ベースボールスタジアムなど	千葉市総合スポーツ公園、ティップネス蘇我、J-GREEN 堺など
	レクリエーション	公園・緑地	舞洲緑道、緑地など	若洲海浜公園(ゴルフ場、ヨット訓練所、海釣り公園、サイクリングロード)、南公園など	1号公園、2号公園、3号公園、寒川緑地、海とのふれあい広場、ハーバーウォーク、ハーバーランド広場、ウォーターフロントプロムナードなど
		キャンプ場	—	オートキャンプ場など	—
		マリーナ・ヨットハーバー	—	大阪北港ヨットハーバーなど	—
		サーキット場	—	サーキット場(カート)	—
広域防災の場	防災	輸送施設	ヘリポート	—	耐震強化岸壁など

「広域防災の場」の視点から見た広島西飛行場跡地のポテンシャルについて

■ 立地環境に優れていること

- ・南海トラフの巨大地震が発生した場合でも、比較的被害が少ない中国地方の拠点にある（半径 300km 圏内に四国全県のほか東は大阪、西は宮崎まで入る）

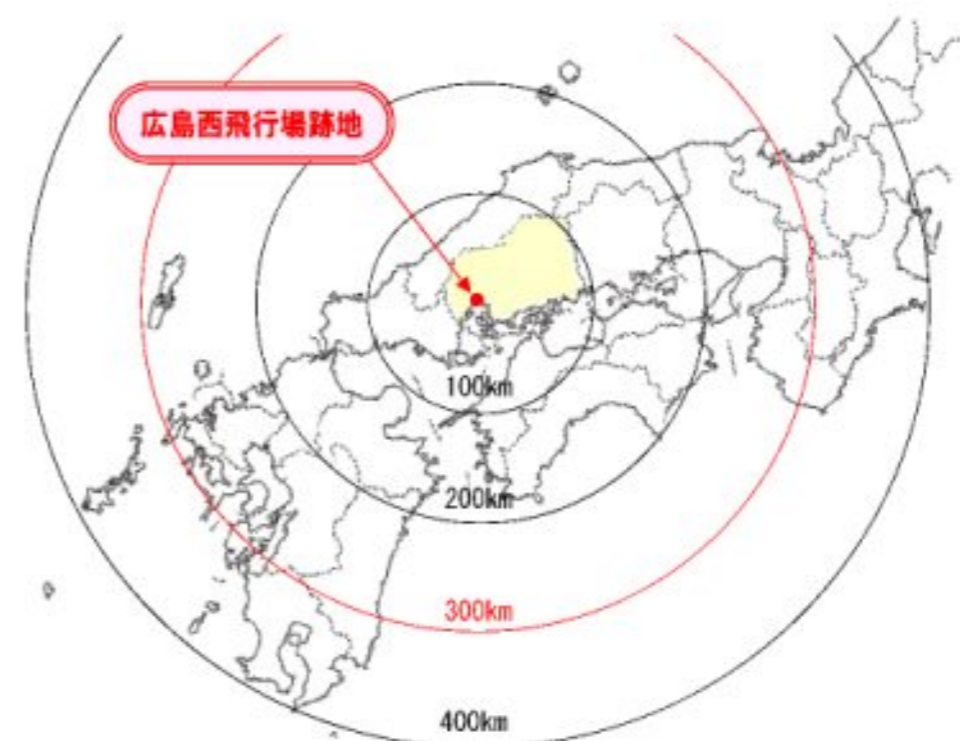
■ 公共ヘリポートを有する広大な公有地であること

- ・日常的に広島県警察や広島市消防局などが利用しており、広島市地域防災計画において、消防拠点及び輸送拠点に位置付けられている
- ・広島県及び広島市において大規模災害等が発生し、緊急消防援助隊航空部隊を受け入れる場合のヘリベース（応援航空隊ヘリコプター運用に関する指揮を実施し、かつ駐機、整備、給油、装備が可能な拠点）に位置付けられている
- ・旧広島西飛行場は、東南海・南海地震発生時の「被災地外広域搬送拠点」の一つに指定されていた（現在、国において南海トラフ巨大地震対策の全体像のとりまとめを行っており、その中で、具体的な被災地外広域搬送拠点を来年度以降に指定する予定であり、広島ヘリポートが指定されるか否かは現時点では未定）
- ・来年度には県の医療用ヘリコプター（ドクターヘリ）が配備される予定である
- ・こうしたヘリポートが隣接する広大な公有地である

■ 陸・海・空からのアクセスが可能であること

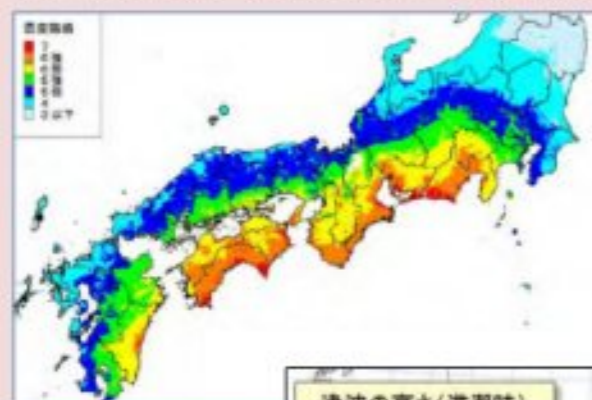
- ・平成 25 年度末に予定される広島南道路（緊急輸送道路）の供用により広域的なアクセス性が向上
- ・公共の旅客棧橋や、民間が所有する岸壁が整備されている
- ・公共ヘリポートが整備されている

（参考）西日本における広島西飛行場跡地の位置



（参考）南海トラフの巨大地震による震度分布・津波高

平成 24 年 8 月に内閣府（防災担当）から公表された「南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域等（第二次報告）」による推計結果では



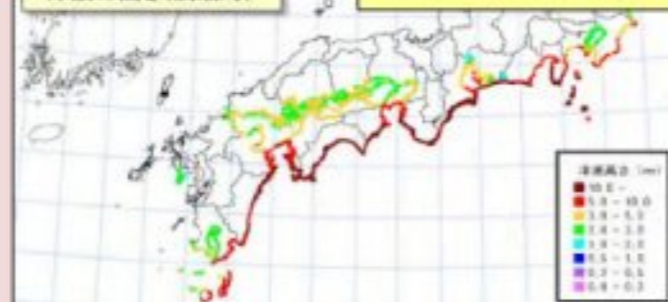
最大震度・・・6弱

満潮時における最大津波高・・・T.P. 4 m*

※高さは T.P. 表示【東京湾平均海面（標高の基準面）からの高さ】

※数値は、小数点以下第二位を四捨五入し、小数点第一位を切り上げた整数表示

津波の高さ(満潮時)



広島西飛行場跡地は埋立地であるため、液状化対策が必要

地区の外周については計画高潮位高（T.P. 4.4m）が確保されており、推計結果の津波高を上回っている。

※西側の太田川放水路左岸については、所定の堤防断面を有していない状態となっていることから、平成 23 年 5 月に国が策定した「太田川水系河川整備計画」において、今後 30 年の計画期間内で、堤防整備（堤防幅の拡張）を行うこととされている。

